

発表者の利益相反自己申告書

演題番号	
演題名	

誓約： 私は、自己の利益相反に関する状況が、様式第 1-2 のとおりであることを誓約します。

なお、法令上又は社会的要請があった場合には、本法人が本申告書の内容を開示又は公開することを承諾します。

申告日 (西暦) 年 月 日

発表者 (署名又は記名押印) _____ 印

発表者の配偶者、一親等内の親族又は収入・財産を共にする者の氏名

(これらの方々の自署は不要です。)

発表者 (共同演者を含む) は、演者ごとに、発表内容に関する営利団体等との利益相反状態にあるすべての関係を、抄録提出日の前年から3年分び抄録提出日まで (注) すべて、利益相反自己申告書 (様式第 1-2) に記載してください。

注：「抄録提出日の前年から過去3年分及び抄録提出日まで」の例

2019年12月1日が抄録提出日の場合は、2016年1月1日～2019年12月1日。

発表者の利益相反自己申告書

(抄録提出日の前年から過去3年分及び抄録提出日まで記載してください)

署名又は記名押印 _____ 印

※ 「あり・なし」のどちらかを丸で囲み、「あり」の場合は営利団体等の名称を記載してください。

項目	基準金額等	該当の状況	該当がある場合、 営利団体等名称
1. 役員、顧問職、社員等 <u>の報酬額</u>	100万円以上	あり・なし	
2. 株式 <u>の利益、保有</u>	利益100万円以上/ 全株式の5%以上	あり・なし	
3. 特許権使用料	100万円以上	あり・なし	
4. <u>講演料（交通費、食費、宿泊費等を含む）</u>	50万円以上	あり・なし	
5. <u>パンフレット等の執筆に対する原稿料</u>	50万円以上	あり・なし	
6. <u>医学系研究費（共同研究・受託研究・治験等）</u>	<u>100万円以上</u>	あり・なし	
7. <u>奨学（奨励）寄附金</u>	<u>100万円以上</u>	あり・なし	
8. <u>営利団体等が提供する寄附講座に所属</u>	所属の有無	あり・なし	
9. <u>臨床研究とは直接関係ない旅行、贈答品等</u>	5万円以上	あり・なし	
10. <u>その他研究の内容に影響を及ぼしうるもの</u>	<u>資金提供、装具、機器等の貸与や提供等</u>	<u>あり・なし</u>	

日本臨床整形外科学会 利益相反開示

発表者名 ○○○○、□□□□、◎△△△△ (◎代表者)

演題発表に関連し、開示すべき利益相反状態関係にある営利
団体等はありません。

日本臨床整形外科学会 利益相反開示

発表者名 ○○○○、□□□□、◎△△△△ (◎代表者)
発表者全員一括して

講演料： A 製薬

原稿料： B 製薬

共同研究費： C 製薬

寄附講座所属： あり (D 精機)

日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書

日本臨床整形外科学会（以下**本法人**という）雑誌は、**本法人**における事業活動に伴う利益相反状態に関する指針**および規則等に基づき**、著者全員に対して、投稿論文の内容に影響を及ぼし得る**利益相反状態にあるすべての関係**を明示することを求めます。

- ・筆頭著者、共著者全員が、それぞれ個別に申告することが必要です。
- ・投稿論文が利益相反状態に関係すると思われることがらについては、**投稿時に、投稿時の前年から過去3年分および投稿時まで（注）すべて**、もれなく記載してください。
- ・申告後に新たな利益相反状態が生じた場合には、発生の時点から8週間以内に追加、変更を申告してください。

注 投稿時の前年から過去3年分および投稿時までの例

2019年6月1日が投稿時（日）の場合は、2016年1月1日～2019年6月1日。

論文タイトル： _____

誓約：私は、自己の利益相反に関する状況が**様式第2-2**のとおりであることを誓約します。なお、法令上または**社会的要請があった場合には、本法人が本申告書の内容を開示または公開することを承諾します。**

申告日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者（**筆頭著者**、共著者） 署名**または記名押印**

_____ 印

申告者の配偶者、一親等内の親族または収入、財産を共有する者の氏名（これらの方々の**自署**、捺印は不要です。）

次ページの記入欄の注記

- *1 役員、顧問職、社員等については役職を記載してください。
- *2 企業名、持ち株数、申告時の1株あたりの株価を記載してください。
- *3 **特許・実用新案名など**と申告者に特許権使用料を支払う営利団体等の名称を記載してください。
- *4 **営利団体等から発表者、研究者に支払われた講演料（交通費、食費、宿泊費などを含む）について記載してください。**
- *5 事務経費を差し引かず、営利団体等からの全入金額をもとに、有無を記載してください。
- *6 例を参考に、論文に影響を及ぼすことがらがあれば、記載してください。
例 ・資金提供の有無
 - ・物品（**薬、装具、機器などを含む**）の貸与もしくは提供の有無
 - ・データの提供、解析、計測**または役務など無形の便宜もしくは支援**の有無
 - ・論文中に言及する物品（薬、装具、機器などを含む）を扱う会社の社員が著者、共著者になっている場合
 - ・論文が特定の団体を批判する内容を含む場合

申告者（筆頭著者，共著者）の申告事項

項目	該当	ありの場合，営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員，顧問職，社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・なし	*1
2 株式の利益，保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益 または当該株式の5%以上保有	あり・なし	*2
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	あり・なし	*3
4 講演料（交通費，食費，宿泊費などを含む） 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	あり・なし	*4
5 パンフレットなどの執筆に対する原稿料 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	あり・なし	
6 医学系研究費（共同研究，受託研究，治験など） 1カ所の営利団体等から支払われた総額が年間100万円以上	あり・なし	*5
7 奨学（奨励）寄附金 1カ所の営利団体等から申告者個人または申告者が所属する機関に支払われた総額が年間100万円以上	あり・なし	*5
8 営利団体等が提供する寄附講座に所属 所属する施設名と講座名を記載	あり・なし	
9 臨床研究とは直接関係のない旅行，贈答品など 1カ所の営利団体等から年間5万円以上	あり・なし	
10 その他論文の内容に影響を及ぼしうるもの 資金提供，物品（薬，装具，機器などを含む）の貸与または提供など	あり・なし	*6

申告者の配偶者，一親等内の親族または収入，財産を共有する者の申告事項

項目	該当	ありの場合，営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員，顧問職，社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・なし	*1
2 株式の利益，保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益 または当該株式の5%以上保有	あり・なし	*2
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	あり・なし	*3

記入例（作成見本）にならって記入してください。

日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書

日本臨床整形外科学会（以下**本法人**という）雑誌は、**本法人**における事業活動に伴う利益相反状態に関する指針**および規則等に基づき**、著者全員に対して、投稿論文の内容に影響を及ぼし得る**利益相反状態にあるすべての関係**を明示することを求めます。

- ・筆頭著者、共著者全員が、それぞれ個別に申告することが必要です。
- ・投稿論文が利益相反状態に関係すると思われることについては、**投稿時に、投稿時の前年から過去3年分および投稿時まで（注）すべて**、もれなく記載してください。
- ・申告後に新たな利益相反状態が生じた場合には、発生の時点から8週間以内に追加、変更を申告してください。

注 投稿時の前年から過去3年分および投稿時までの例

2019年6月1日が投稿時（日）の場合は、2016年1月1日～2019年6月1日。

論文タイトル： ここに和文の論文タイトルを記入してください

誓約：私は、自己の利益相反に関する状況が**様式第2-2**のとおりであることを誓約します。なお、法令上または**社会的要請があった場合には、本法人が本申告書の内容を開示または公開することを承諾します。**

申告日（西暦） 2019 年 10 月 1 日

申告者（**筆頭著者**）共著者） 署名**または記名押印**

整形 太郎 印

申告者の配偶者、一親等内の親族または収入、財産を共有する者の氏名（これらの方々の**自署**、捺印は不要です。）

整形 花子 整形 一郎

次ページの記入欄の注記

- *1 役員、顧問職、社員等については役職を記載してください。
- *2 企業名、持ち株数、申告時の1株あたりの株価を記載してください。
- *3 **特許・実用新案名など**と申告者に特許権使用料を支払う営利団体等の名称を記載してください。
- *4 **営利団体等から発表者、研究者に支払われた講演料（交通費、食費、宿泊費などを含む）について記載してください。**
- *5 事務経費を差し引かず、営利団体等からの全入金額をもとに、有無を記載してください。
- *6 例を参考に、論文に影響を及ぼすことがらがあれば、記載してください。
 - 例 ・資金提供の有無
 - ・物品（**薬、装具、機器などを含む**）の貸与もしくは提供の有無
 - ・データの提供、解析、計測**または役務など**無形の便宜もしくは支援の有無
 - ・論文中に言及する物品（薬、装具、機器などを含む）を扱う会社の社員が著者、共著者になっている場合
 - ・論文が特定の団体を批判する内容を含む場合

作成見本

様式第2-2

申告者（筆頭著者，共著者）の申告事項

項目	該当	ありの場合，営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員，顧問職，社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・○なし	*1
2 株式の利益，保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益または当該株式の5%以上保有	○あり・なし	*2 例 ○○医療器株式会社の1000株の株式を保有，1株3456円.
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	あり・○なし	*3
4 講演料（交通費，食費，宿泊費などを含む） 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	○あり・なし	*4 例 △△製薬株式会社講演会講師料，交通費
5 パンフレットなどの執筆に対する原稿料 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	○あり・なし	*5 例 △△製薬株式会社○○錠と△△錠の解説パンフレットほか資料の原稿料
6 医学系研究費（共同研究，受託研究，治験など） 1カ所の営利団体等から支払われた総額が年間100万円以上	○あり・なし	*5 例 ○○医療器株式会社
7 奨学（奨励）寄附金 1カ所の営利団体等から申告者個人または申告者が所属する機関に支払われた総額が年間100万円以上	○あり・なし	*5 例 △△製薬株式会社
8 営利団体等が提供する寄附講座に所属 所属する施設名と講座名を記載	○あり・なし	例 ××大学医学部○○学専攻△△製薬寄附講座
9 臨床研究とは直接関係のない旅行，贈答品など 1カ所の営利団体等から年間5万円以上	○あり・なし	例 △△製薬株式会社から米国○○学会参加後の現地観光旅行の航空機代
10 その他論文の内容に影響を及ぼしうるもの 資金提供，物品（薬，装具，機器などを含む）の貸与または提供など	○あり・なし	*6 例 ○○製薬株式会社による統計解析支援共著者○○は○○医療器株式会社社員

申告者の配偶者，一親等内の親族または収入，財産を共有する者の申告事項

項目	該当	ありの場合，営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員，顧問職，社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	○あり・なし	*1 例 ○○製薬株式会社顧問
2 株式の利益，保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益または当該株式の5%以上保有	あり・○なし	*2
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	○あり・なし	*3 例 ○○医療器株式会社○○式体幹装具

記入例（作成見本）にならって記入してください。

役員等の利益相反自己申告書

(算出期間 (西暦) : 年 月 日 ~ 年 月 日)

一般社団法人日本臨床整形外科学会理事長 _____様

受付番号	申告日 (西暦)	年	月	日
申告者 署名又は記名押印	印			
所属 (医療機関名)				

申告者の配偶者、一親等内の親族又は収入・財産を共有する者の氏名 (これらの方々の自署は不要です。)

(該当する箇所にチェックしてください)

- 理事 監事 学術集会担当責任者(会長等) 委員会委員長 編集委員会
雑誌編集WG 学術研修委員会 倫理審査委員会 利益相反管理委員会
利益相反小委員会 不服申立審査委員会 暫定的な小委員会又はワーキンググループ 事務局職員

A. 申告者自身の申告事項

1. 営利団体等の役員、顧問職、社員等の有無と報酬額 【あり なし】

(1 カ所の営利団体等からの報酬額が年間 100 万円以上のものを記載してください)

	営利団体等の名称	役職 (役員、顧問職、社員等)	金額区分
1			
2			
3			

金額区分：①100 万円以上 300 万円未満 ②300 万円以上 500 万円未満 ③500 万円以上

2. 株式の保有とその株式から得られる利益 【あり なし】

(1 カ所の企業につき 1 年間の株式による利益 (配当、売却益の総和) が 100 万円以上のもの又は当該株式の 5%以上を所有するものを記載してください)

	企業名	持ち株数	申告時の株価 (1 株あたり)	金額区分
1				
2				

金額区分等：①100 万円～300 万円未満 ②300 万円～500 万円未満 ③500 万円以上
④5%以上の株式を所有

3. 営利団体等からの特許権使用料 【あり なし】

(1 カ所の営利団体等から、年間 100 万円以上支払われたものを記載してください)

	営利団体等の名称	特許名、特許番号	金額区分
1			
2			

金額区分：①100 万円～300 万円未満 ②300 万円～500 万円未満 ③500 万円以上

4. 営利団体等から発表者、研究者に支払われた講演料（交通費、食費、宿泊費等を含む） 【あり なし】

(1 カ所の営利団体等からの年間の合計が 50 万円以上のものを記載してください)

	営利団体等の名称	金額区分
1		
2		
3		

金額区分：①50 万円～300 万円未満 ②300 万円～500 万円未満 ③500 万円以上

5. 営利団体等からパンフレット等の執筆に対して支払われた原稿料

【あり なし】

(1 カ所の営利団体等からの年間の合計が 50 万円以上のものを記載してください)

	営利団体等の名称	金額区分
1		
2		
3		

金額区分：①50 万円～300 万円未満 ②300 万円～500 万円未満 ③500 万円以上

6. 営利団体等が契約に基づいて提供する医学系研究費（共同研究、受託研究、治験等）

【あり なし】

(1 カ所の営利団体等から支払われた全入金額をもとに、事務経費を差し引かず、年間 100 万円以上のものを記載してください)

	営利団体等の名称	研究費区分	金額区分
1			

2			
3			

研究費区分：①共同研究 ②受託研究 ③治験 ④その他

金額区分：①100万円～500万円未満②500万円～2,000万円未満③2,000万円以上

7. 営利団体等が提供する **奨学（奨励）寄附金** 【□あり □なし】

(1 カ所の営利団体等から、申告者個人又は申告者が所属する部局（講座・分野）

若しくは研究室の代表者に支払われた総額が年間100万円以上のものを、**事務経費を差し引かず**、記載してください)

	営利団体等の名称	金額区分
<u>1</u>		
<u>2</u>		
<u>3</u>		

金額区分：①100万円～500万円未満②500万円～2,000万円未満③2,000万円以上

8. 営利団体等が提供する寄附講座に所属 【□あり □なし】

9. 臨床研究とは直接関係のない旅行、贈答品等 **の受取** 【□あり □なし】

(1 カ所の営利団体等から受けた総額が年間5万円以上のものを記載してください)

	営利団体等の名称	報酬内容	金額区分
1			

2			
3			

金額区分：①5万円～20万円未満 ②20万円～50万円未満 ③50万円以上

10. その他論文の内容に影響を及ぼしうる資金提供、物品（薬、装具、機器等を含む）の貸与又は提供等 【あり なし】

	営利団体等の名称	内 容
<u>1</u>		
<u>2</u>		
<u>3</u>		

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族又は収入・財産を共有する者の申告事項

1. 営利団体等の役員、顧問職、社員等の有無と報酬額 【あり なし】

(1 カ所の営利団体等からの報酬額が年間 100 万円以上のものを記載してください)

	営利団体等の名称	役職（役員、顧問職、社員等）	金額区分
1			
2			
3			

金額区分：①100 万円～300 万円未満 ②300 万円～500 万円未満 ③500 万円以上

2. 株式の保有とその株式から得られる利益 【あり なし】

(1カ所の企業につき1年間の株式の利益（配当、売却益の総和）が100万円以上のもの又は当該株式の5%以上を所有するものを記載してください)

	企業名	持ち株数	申告時の株価（1株あたり）	金額区分
1				
2				

金額区分等：①100 万円～300 万円未満 ②300 万円～500 万円未満 ③500 万円以上

④5%以上の株式を所有

3. 営利団体等からの特許権使用料 【あり なし】

(1カ所の営利団体等から、年間100万円以上支払われたものを記載してください)

	営利団体等の名称	特許名、特許番号	金額区分
1			
2			

金額区分：①100万円～300万円未満 ②300万円～500万円未満 ③500万円以上

誓約書

一般社団法人日本臨床整形外科学会

理事長 _____様

氏 名 _____

所 属（医療機関名） _____

私は、利益相反自己申告書及び当該利益相反小委員会の見解及び意見書等のすべてに関し、申告書名及び当該内容等について、いかなる形においても、外部等に情報等を漏えいしないことをここに誓います。

平成 年 月 日

署名又は記名押印 _____印

様式第2-1

日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書

日本臨床整形外科学会（以下本法人という）雑誌は、本法人における事業活動に伴う利益相反状態に関する指針および規則等に基づき、著者全員に対して、投稿論文の内容に影響を及ぼし得る利益相反状態にあるすべての関係を明示することを求めます。

- ・筆頭著者、共著者全員が、それぞれ個別に申告することが必要です。
- ・投稿論文が利益相反状態に関係すると思われることがらについては、投稿時に、投稿時の前年から過去3年分および投稿時まで（注）すべて、もれなく記載してください。
- ・申告後に新たな利益相反状態が生じた場合には、発生の時点から8週間以内に追加、変更を申告してください。

注 投稿時の前年から過去3年分および投稿時までの例

2019年6月1日が投稿時（日）の場合は、2016年1月1日～2019年6月1日。

論文タイトル： _____

誓約：私は、自己の利益相反に関する状況が様式第2-2のとおりであることを誓約します。なお、法令上または社会的要請があった場合には、本法人が本申告書の内容を開示または公開することを承諾します。

申告日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者（筆頭著者、共著者） 署名または記名押印

_____ 印

申告者の配偶者、一親等内の親族または収入、財産を共有する者の氏名（これらの方々の自署、捺印は不要です。）

次ページの記入欄の注記

- *1 役員、顧問職、社員等については役職を記載してください。
- *2 企業名、持ち株数、申告時の1株あたりの株価を記載してください。
- *3 特許・実用新案名などと申告者に特許権使用料を支払う営利団体等の名称を記載してください。
- *4 営利団体等から発表者、研究者に支払われた講演料（交通費、食費、宿泊費などを含む）について記載してください。
- *5 事務経費を差し引かず、営利団体等からの全入金額をもとに、有無を記載してください。
- *6 例を参考に、論文に影響を及ぼすことがらがあれば、記載してください。

例 ・資金提供の有無

- ・物品（薬、装具、機器などを含む）の貸与もしくは提供の有無
- ・データの提供、解析、計測または役務など無形の便宜もしくは支援の有無
- ・論文中に言及する物品（薬、装具、機器などを含む）を扱う会社の社員が著者、共著者になっている場合
- ・論文が特定の団体を批判する内容を含む場合

おことわり

この雑誌掲載の様式第2-1と様式第2-2では、ページ先頭の様式第2-1、様式第2-2の文字の位置とフォントが、一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反に関する規則に定められている右端の明朝体から左端のゴシック体に、記入例（作成見本）にならって記入する旨の案内文の位置が、最下行左端から第2行右詰めに変更されています。

様式第2-2

記入例（作成見本）にならって記入してください。

申告者（筆頭著者、共著者）の申告事項

項目	該当	ありの場合、営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員、顧問職、社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・なし	*1
2 株式の利益、保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益 または当該株式の5%以上保有	あり・なし	*2
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	あり・なし	*3
4 講演料（交通費、食費、宿泊費などを含む） 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	あり・なし	*4
5 パンフレットなどの執筆に対する原稿料 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	あり・なし	
6 医学系研究費（共同研究、受託研究、治験など） 1カ所の営利団体等から支払われた総額が年間100万円以上	あり・なし	*5
7 奨学（奨励）寄附金 1カ所の営利団体等から申告者個人または申告者が所属する機関に支払われた総額が年間100万円以上	あり・なし	*5
8 営利団体等が提供する寄附講座に所属 所属する施設名と講座名を記載	あり・なし	
9 臨床研究とは直接関係のない旅行、贈答品など 1カ所の営利団体等から年間5万円以上	あり・なし	
10 その他論文の内容に影響を及ぼしうるもの 資金提供、物品（薬、装具、機器などを含む）の貸与または提供など	あり・なし	*6

申告者の配偶者、一親等内の親族または収入、財産を共有する者の申告事項

項目	該当	ありの場合、営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員、顧問職、社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・なし	*1
2 株式の利益、保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益 または当該株式の5%以上保有	あり・なし	*2
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	あり・なし	*3

日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書

日本臨床整形外科学会（以下本法人という）雑誌は、本法人における事業活動に伴う利益相反状態に関する指針および規則等に基づき、著者全員に対して、投稿論文の内容に影響を及ぼし得る利益相反状態にあるすべての関係を明示することを求めます。

- ・筆頭著者、共著者全員が、それぞれ個別に申告する必要があります。
- ・投稿論文が利益相反状態に関係すると思われることがらについては、投稿時に、投稿時の前年から過去3年分および投稿時まで（注）すべて、もれなく記載してください。
- ・申告後に新たな利益相反状態が生じた場合には、発生の時点から8週間以内に追加、変更を申告してください。

注 投稿時の前年から過去3年分および投稿時までの例

2019年6月1日が投稿時（日）の場合は、2016年1月1日～2019年6月1日。

論文タイトル：ここに和文の論文タイトルを記入してください

誓約：私は、自己の利益相反に関する状況が様式第2-2のとおりであることを誓約します。なお、法令上または社会的要請があった場合には、本法人が本申告書の内容を開示または公開することを承諾します。

申告日（西暦） 2019 年 10 月 1 日

申告者（筆頭著者）共著者 署名または記名押印

整形 太郎 印

申告者の配偶者、一親等内の親族または収入、財産を共有する者の氏名（これらの方々の自署、捺印は不要です。）

整形 花子 整形 一郎

次ページの記入欄の注記

- *1 役員、顧問職、社員等については役職を記載してください。
- *2 企業名、持ち株数、申告時の1株あたりの株価を記載してください。
- *3 特許・実用新案名などと申告者に特許権使用料を支払う営利団体等の名称を記載してください。
- *4 営利団体等から発表者、研究者に支払われた講演料（交通費、食費、宿泊費などを含む）について記載してください。
- *5 事務経費を差し引かず、営利団体等からの全入金額をもとに、有無を記載してください。
- *6 例を参考に、論文に影響を及ぼすことがらがあれば、記載してください。

例 ・資金提供の有無

- ・物品（薬、装具、機器などを含む）の貸与もしくは提供の有無
- ・データの提供、解析、計測または役務など無形の便宜もしくは支援の有無
- ・論文中に言及する物品（薬、装具、機器などを含む）を扱う会社の社員が著者、共著者になっている場合
- ・論文が特定の団体を批判する内容を含む場合

おことわり

この雑誌掲載の様式第2-1と様式第2-2では、ページ先頭の様式第2-1、様式第2-2の文字の位置とフォントが、一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反に関する規則に定められている右端の明朝体から左端のゴシック体に、記入例（作成見本）にならって記入する旨の案内文の位置が、最下行左端から第2行右詰めに變更されています。

様式第2-2

作成見本

(作成見本) にならって記入してください。

申告者（筆頭著者，共著者）の申告事項

項目	該当	ありの場合，営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員，顧問職，社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・○なし	*1
2 株式の利益，保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益 または当該株式の5%以上保有	○あり・なし	*2 例 ○○医療器株式会社の1000株の株式を保有，1株3456円。
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	あり・○なし	*3
4 講演料（交通費，食費，宿泊費などを含む） 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	○あり・なし	*4 例 △△製薬株式会社講演会講師料，交通費
5 パンフレットなどの執筆に対する原稿料 1カ所の営利団体等から年間50万円以上	○あり・なし	*5 例 △△製薬株式会社○○錠と△△錠の解説パンフレットほか資料の原稿料
6 医学系研究費（共同研究，受託研究，治験など） 1カ所の営利団体等から支払われた総額が年間100万円以上	○あり・なし	*5 例 ○○医療器株式会社
7 奨学（奨励）寄附金 1カ所の営利団体等から申告者個人または申告者が所属する機関に支払われた総額が年間100万円以上	○あり・なし	*5 例 △△製薬株式会社
8 営利団体等が提供する寄附講座に所属 所属する施設名と講座名を記載	○あり・なし	例 ××大学医学部○○学専攻△△製薬寄付講座
9 臨床研究とは直接関係のない旅行，贈答品など 1カ所の営利団体等から年間5万円以上	○あり・なし	例 △△製薬株式会社から米国○○学会参加後の現地観光旅行の航空機代
10 その他論文の内容に影響を及ぼしうるもの 資金提供，物品（薬，装具，機器などを含む）の貸与または提供など	○あり・なし	*6 例 ○○製薬株式会社による統計解析支援共著者○○は○○医療器株式会社社員

申告者の配偶者，一親等内の親族または収入，財産を共有する者の申告事項

項目	該当	ありの場合，営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員，顧問職，社員等の報酬額 1カ所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	○あり・なし	*1 例 ○○製薬株式会社顧問
2 株式の利益，保有 1カ所の企業の株式の年間100万円以上の利益 または当該株式の5%以上保有	あり・○なし	*2
3 特許権使用料 1カ所の営利団体等から年間100万円以上	○あり・なし	*3 例 ○○医療器株式会社○○式体幹装具

